

## グリーンヒルみふねが 県外の社会福祉法人と災害協定

9月14日、社会福祉法人恵寿会老人総合施設グリーンヒルみふね（吉本賢児理事長）が大分県の社会福祉法人みずほ厚生センター（大塚恭弘理事長）と災害時相互応援協定を締結しました。この協定は、熊本・大分地震をきっかけに、近隣地域の助け合いや広域地域での助け合いの仕組みづくりのため、非常時は、物資提供や人的支援などを行うものです。吉本洋施設長は「これからも災害協定の輪を全国に広げ、みんなで助け合い、災害に強いまちづくりを目指したい」と話しました。



握手を交わす吉本洋施設長（左）と大塚恭弘理事長（右）

## 県内最大のスポーツの祭典開幕！

9月8日から23日にかけて、「第73回熊本県民体育祭」が開催されました。上益城郡の代表として町から14種目75人の選手が出場し、各都市の代表と熱戦を繰り広げました。今大会の上益城郡は総合5位という結果でした。



1



4



7



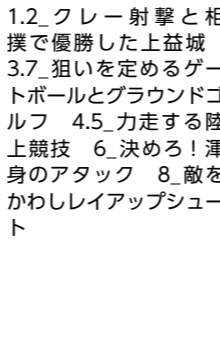
2



3



5



6

1.2\_クレール射撃と相撲で優勝した上益城  
3.7\_狙いを定めるゲートボールとグラウンドゴルフ  
4.5\_力走する陸上競技  
6\_決める！渾身のアタック  
8\_敵をかわしレイアップシュート

種目	性別	結果	◆上益城郡の順位を計上 (御船町から出場した種目のみ掲載)		
陸上競技	男	8位	弓道	—	4位
	女	10位	卓球	—	7位
水泳	男	9位	テニス	—	3位
	女	13位	ソフトテニス	—	7位
バドミントン	男	9位	クレール射撃	—	1位
	女	9位	相撲	—	1位
バレーボール	男	3位	アーチェリー	—	6位
	女	9位	ゲートボール	男	16位
バスケットボール	男	2位	グラウンドゴルフ	男	10位
	女	9位			

## 第45回上益城郡童話発表大会

9月7日、矢部保健福祉センター「千寿苑」（山都町）で第45回上益城郡童話発表大会が開催されました。各町の代表が集まるなか、御船町からは、町童話発表大会で最優秀賞を受賞した、松下芽生さん（高木小2年）と寺田俊太郎さん（御船小6年）が出場しました。二人とも堂々とした発表で、観客を物語の世界へと引き込んでいました。発表した松下さんは「リラックスして発表できた。大きな声を出すことと間の取り方を意識した」、寺田さんは「少し緊張した。話の強弱を意識しながら登場人物になりきって話すことを心がけた」と感想を述べました。結果は、最優秀賞に寺田さんが選ばれ、県童話発表大会への出場が決まりました。「目指すは頂点。郡代表としてみんなの分まで発表したい」と意気込みを語ってくれました。



寺田 俊太郎（御船小6年）  
『とびだせ少年剣士』

松下 芽生（高木小2年）  
『いちばんしあわせなおくりもの』

童話に親しみ、観客を魅了  
心を込めた物語—

▶最優秀賞を受賞した  
寺田俊太郎さん  
10月20日に嘉島町  
民会館で第57回熊本  
県童話発表大会に出場  
します。



## 新潟県敬和学園大学が仮設住宅訪問

9月8日、新潟県敬和学園大学が熊本地震で被災した人たちに「震災のときの状況や今何が必要か」ということを聞き、今後の防災対策に活かすために仮設住宅を訪れました。同大学は、長期の復興支援を得意とし、2011年の東日本大震災をきっかけに「Keiwa HOPE」というボランティアチームとして被災地で活動。仮設住宅の住民の人たちの話を聞く中で、同大学の地域が被災したときを想定し、大学が復旧・復興の拠点になるか調査も行いました。リーダーの細井采可さん（4年生）は「震災当時の大変さが伝わってきた。このことをとりまとめ、新潟での防災に役立てたい」と話しました。



震災の経験を次に活かすために

## 災害時・緊急時を想定して

9月9日、古閑原地区（釜川長生区長）と古閑原サロンの共催で災害時・緊急時に役立つ簡単レシピによる料理講習会が開催されました。講習会では、食生活改善推進員の指導を受けながら、地域の婦人たちが参加。災害時などを想定したことで、調理する材料は、地域で持ち寄り、調理方法は、1つの鍋で複数の料理ができる“パッククッキング”などを実践しました。この講習会に釜川区長は「（災害時等は）みんなで助け合うことが大切。これからもこのつながりを大事にしたい」と話しました。作られた料理は弁当箱に詰め、地区の75歳以上の一人暮らし家庭に見守り活動も兼ねて配布されました。



食生活改善推進員の指導を受けながら、調理する地域の人たち